

# 図書館だより

平成24年3月

主な内容

- 巻頭言 ..... 1
- 全国図書館大会島根大会 ..... 2
- 平成24年度島根県立図書館各種講座 ... 2
- 平成24年度館内資料展示計画 ... 2
- 全国図書館大会島根大会 ..... 2
- 館内資料展示コーナー ..... 3
- レファレンス事例紹介 ..... 3
- おしらせ・利用案内 ..... 4

島根県立図書館報 第196号

行事予定は、カウンターでお渡しします。

## 「大いなる特ダネの宝箱」

山陰中央新報社編集委員兼論説委員  
引野 道生

今年、日本最古の歴史書「古事記」編さん1300年。山陰中央新報社ではスサノオやオオクニヌシが活躍する出雲神話の舞台と魅力を追う連載「神話のふるさと」を2010年10月から週1回、計63回掲載した。古事記を中心に日本書紀、出雲国風土記も含め、考古学や歴史学、国文学、民俗学の先行研究を踏まえて執筆した。その際、国文学者の故西郷信綱さんの「古事記注釈」をはじめ、島根県立図書館の多くの蔵書を利用することができなければ書くことができず、深く感謝している。

同業他社の手前、あまり手の内をさらしたくないのだが、特ダネをつかんだりヒントを得たりする上で、県立図書館は極めて重要な宝の箱なのだ。特に史学雑誌や日本史研究など歴史関係の月刊誌が多く閲覧できるコーナー。世界遺産登録を目指す石見銀山遺跡を担当していた大田支局長時代から毎月1回、松江に帰った際は必ずチェックしてきた。石見銀山は単に日本史の枠組みにとどまらず、西洋史や東洋史の研究成果を駆使しなければ実像が

見えてこない。おかげさまで、さまざまな研究者や成果を学ぶ上で随分、助けとなった。国宝の荒神谷遺跡の弥生青銅器に関連した独自ダネを見つけたこともある。郷土資料室も同様になくはない存在である。

話しはがらりと変わる。県立図書館ではなく学校図書館だったが、本を借りて読んでいて本当に良かったと思えた逸話を一つ。1999年3月、宍道湖畔に島根県立美術館が開館。所蔵品のうち、印象派の巨匠モネ作「アバルの門」が気になった。元の題は「針の岩とアバルの門」という。フランスのノルマンディーを訪れたことがないのに妙に引っ掛かる。しばらく考えて理由が分かった。絵に描かれた風景は、小中学生の頃に読んだモーリス・ルブラン作アルセーヌ・ルパンシリーズの1冊「奇巖城」の舞台だった。名画と小説の名作が同じ場所で生み出されていたのである。気付いた瞬間、驚いた。美術館の学芸員はこのことを知らなかったので、自慢げに話してしまった。読書とはありがたいものである。



平成24年10月25・26日  
全国図書館大会島根大会(松江市) 開催!

# 平成24年度 第98回全国図書館大会 島根大会

全国図書館大会は、明治39年からの長い歴史を持つ大会で、全国の図書館関係者が一堂に会し、多岐にわたる課題の研究・協議を行う全国大会です。

## 大会概要

**開催日程** 平成24年10月25日 ~ 26日

第1日：10月25日 開会式、全体会、記念講演（玄田有史氏）【会場】島根県民会館大ホール

第2日：10月26日 分科会【会場】島根県民会館、くにびきメッセ

**大会テーマ** 「文化を伝え未来を創る図書館—古事記編纂1300年 神々の国しまねから」

**参加者** 全国図書館関係者 1,000人



## 平成24年度 島根県立図書館各種講座

多数ご参加  
ください

講座名	古文書を読む会		図書館成人読書会		子どもおたのしみ会	親子で絵本を読む会	お父さんといっしょに絵本を読む会	お話の会	
	出雲国風土記を読む会	しまね文学散歩	入門	中世・近世					
開催日	毎月第2金曜日	毎月第3日曜日	毎月第1土曜日	毎月第3土曜日	毎月第2火曜日	毎月第4土曜日	毎月第2、第4水曜日	毎月第3日曜日	毎月第2土曜日
時間	13:30 ~ 15:00	10:00 ~ 12:00	10:00 ~ 11:30	13:30 ~ 15:00	13:00 ~ 15:00	10:00 ~ 11:00	11:00 ~ 11:30	11:00 ~ 11:30	13:30 ~ 14:30
講師	島根県立大学短期大学部名誉教授 藤岡大拙氏	島根県立大学短期大学部名誉教授 寺本喜徳氏	島根県立大学短期大学部名誉教授 藤岡大拙氏	島根県立大学短期大学部名誉教授 藤岡大拙氏	島根県立大学短期大学部名誉教授 藤岡大拙氏	県立図書館職員 ボランティア	県立図書館職員	県立図書館職員	ボランティア
募集人員	80名	50名	50名	50名	50名	フリー	フリー	フリー	フリー
対象	一般	一般	一般	一般	一般	小学生・低学年	幼児、小学生親子	幼児、小学生親子	幼児、小学生親子
内容	唯一完本として残っている「出雲国風土記」を読みながら古代出雲のもつ深い歴史を理解する講座です。	島根に生まれた文人や来遊文人たちによる島根に関する作品を読み、文学から山陰の風土に接していきます。	郷土に関する近世の古文書の初級者向けをテキストとして解説する講座です。	中世・近世の古文書をテキストに、解説と史料の背景をなす郷土史の研究に資する講座です。	参加者が編成したグループ毎に、同じ本を読み意見を交えた催しです。3人以上でお申し込み下さい。	読み聞かせ、紙芝居、手遊び、工作等を交えた催しです。本から広がる楽しさ、喜びを引き出します。	絵本の読み聞かせをとおして、親子で読み聞かせの楽しさを味わいます。おはなしのへやで行います。	絵本、昔話などを読み聞かせで紹介し、読み聞かせの楽しさを味わってもらい、家庭での読み聞かせを薦めます。	ろうそくの灯がともると、ストーリーリング(語り)によるお話の世界が始まります。毎月4~5話のお話を親子で楽しむことができます。
テキスト	「出雲国風土記」加藤義成著 報光社発行	毎月当館で印刷したものの代金 年間500円	毎月当館で印刷したものの代金 年間500円	毎月当館で印刷したものの代金 年間500円	成人読書会用図書				

新規に申込みをされる方は、直接、または葉書が電話で「受講希望講座名、住所、氏名、電話番号」を下記までお知らせください。会場は県立図書館集会所です。(但し「親子で絵本を読む会」「お父さんといっしょに絵本を読む会」「お話の会」はこども室・おはなしのへやです) 〒690-0873 松江市内中原町52番地 島根県立図書館 資料情報グループ TEL 0852-22-5734 しまね電子申請サービスでも申込みができます。

## 平成24年度 館内資料展示

月	テ - マ	月	テ - マ
4	子どもの本復刻資料展	10	ロック・ミュージック
5	写真を楽しむ ~あなたの側にも写真集を	11	この本いいよ ~島根の高校生・高専生おすすめの本~ & ササノオマジック選手おすすめの本
6	エネルギー問題を考える	12	中村元と松江
7	観光立県しまね - 神話博しまねによせて -	1	少女小説の世界
8	ねえ、この本読んで	2	世界に誇る日本の技術
9	神社・寺院 建築物にみる匠の技	3	私たちができること - 社会貢献のススメ -

# 館内資料 展示コーナー

お勧め  
したい本

県立図書館では毎月テーマを決めて資料の展示を行っています。12月から2月に展示した資料の中から、皆さまに是非読んで頂きたい本を紹介します。

展示リストはホームページからご覧になれます。

URL: <http://www.lib-shimane.jp>

## 12月テーマ 大正時代を知る

『暮らしの年表／流行語100年』

講談社／編 講談社 2011年刊

1911（明治44）年から2010（平成22）年までの100年間に、日本人の生活に大きな影響を与えた出来事を年表で紹介。また、各年毎の流行語やヒット商品なども掲載されているので、当時の人々の暮らしを思い描くことができます。

『明治大正日本のマッチラベル』

三好 一／著 京都書院 1998年刊

当時、生活必需品だったマッチには、会社によって異なるイラストやデザインのラベルが付けられていました。本書は明治・大正期のマッチラベルが生産地、製造所別に分類してあり、さまざまなデザインを鑑賞することができます。

## 1月テーマ 厠・便所・お手洗い～意外と知らないトイレの世界～

『昔の暮らし』

ポプラ社 2005年

明治以降の人々の暮らしを、住まい・食生活・衣服・子ども・乗り物の五つのテーマに分け、写真やイラストを使い詳しく解説しています。トイレの項目では、昭和30年頃の外便所の写真と共に、汲み取り式便所のしくみなどが紹介されています。

『水と暮らしの文化史』

栄森康治郎／著 TOTO出版 1994年

風呂、台所、水道など、私たちの暮らしに欠かすことのできない水と住まいの水回りについて、古墳時代から現代までの変遷を解説しています。便所の項目では、大正から昭和にかけて考案された、様々な汲み取り式便所が図入りで紹介されています。

## 2月テーマ 森鷗外～生誕150年～

『父の帽子』

森 茉莉 筑摩書房 1957年

森鷗外の長女である茉莉による回想録。茉莉は兄弟のなかでも特にかわいがられていたといわれ、その文章から父・鷗外との仲睦まじさが伝わってきます。ほかにも母、祖父母など身の回りの人々のことや幼いころの出来事がつづられています。

『鷗外の花暦』

青木宏一郎 養賢堂 2008年

森鷗外が書いた『花暦』や日記などに出てくる植物を紹介した資料。鷗外の作品には多くの植物が登場しますが、鷗外自身も植物好きで自邸の庭でたくさんの植物を育てていたそうです。鷗外の「ガーデニング好き」という意外な一面が見える一冊です。

## レファレンス事例紹介

今年の干支「辰年」にちなんだレファレンスを紹介します。

**Q** 「龍」を4つ並べた漢字の読みが知りたい。日本で一番画数が多い字だとテレビで見た。

**A** 当館所蔵の『大漢和辞典』より、この漢字は「テツ」「テチ」と読み、画数は64画で「言葉の多い、多言」という意味だそうです。さらに同資料索引より、最大画数「64画」の漢字は、「龍4つ」以外に「興4つ」の「セイ」という漢字もあることがわかりました。



参考文献

『大漢和辞典 巻9 修訂版』（諸橋轍次／著 大修館書店 1986年）

『大漢和辞典 巻12 修訂版』（諸橋轍次／著 大修館書店 1986年）

『大漢和辞典 巻13 索引』（諸橋轍次／著 大修館書店 1960年）

**Q** 昭和20年頃に県内の名所・旧跡を紹介した『いろはがるた』があったが、この内容が知りたい。

**A** 図書館ではかるたそのものは所蔵していませんが、「島根教育」という雑誌に、発行された当時の『島根郷土かるた』の記事と広告が載っており、かるたの内容が一部（20枚分）紹介されていました。このかるたの作者は師範学校の山根先生（文）と須藤先生（画）で、児童の郷土理解のために作られ、松江寺町の松村弘文堂が発行していました。また、山根先生の手記より当時の朝日新聞に47枚全ての読み札の文句が掲載されていたことがわかりました。この『島根郷土かるた』は昨年（2019年）の11月23日に複製されました。

参考文献

「島根教育」第447号（昭和7年10月号）、島根県教育会

「大阪朝日新聞」島根版 昭和7年10月19日付 5面

「附属百年のあゆみ」島根大学教育学部附属小学校

創立百周年記念誌委員会、昭和51年

# 学校図書館パネル展

「子ども読書の日（4月23日）」、「図書館記念日（4月30日）」にあわせて、学校図書館の取り組みを紹介するパネル展を開催します。

パネルは、各校の教職員・学校司書の手作りです。子どもたちがいきいきと学ぶ姿、そしてその場である学校図書館の様子をぜひご覧ください。

期 間：平成24年4月21日 ~ 5月6日 予定

場 所：島根県立図書館 2階回廊 出展校：出雲市、奥出雲町、吉賀町の小・中学校等



4月23日は子ども読書の日 4月23日 ~ 5月12日 は子どもの読書週間

「日本の子どもの本復刻資料展  
—明治・大正・昭和—  
—島根県立図書館こどもしつ所蔵資料より—

場 所：島根県立図書館 ホール

期 間：4月6日 ~ 5月2日

内 容：島根県立図書館こどもしつ所蔵の子どもの本復刻資料を中心に展示します。明治大正・昭和の子どもの本の歴史をたどってみてください。



『かがくのとも』創刊号  
福音館書店1969・4  
(川田健文 藪内正幸絵)



『こどものとも』創刊号  
福音館書店1956・4  
(与田準一作 堀文子画)



『赤い鳥』4巻6号  
赤い鳥社1920・6  
(表紙清水良雄絵)

## 開館日カレンダー



平成24年

**3月** 展示：法律を学ぼう

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

**4月** 展示：子どもの本復刻資料展

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

**5月** 展示：写真を楽しむ～あなたの側にも写真集を～

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

黒字...9:00～19:00 青字...9:00～17:00  
赤字...休館日

## 読書普及指導員を派遣します

保護者参観や職員・ボランティアの方の研修会等で、親子読書や読み聞かせの基本的な考え方やポイントなどお話しします。お問い合わせ 子ども担当(0852-22-6077) または西部読書普及センター(0855-23-6785)まで。

## お近くの市町村図書館を通して貸出します

すべての県民の皆さんに県立図書館の資料を利用してもらうため、市町村の図書館などを通して資料の貸出を行っています。県立図書館に求める資料があるかどうかは、インターネットの蔵書検索(県立図書館HP)や、電話での問合せ(0852-22-5748)またはお近くの市町村図書館までおたずねください。借りたい資料が決まりましたら、お近くの市町村図書館(図書館未設置の5町村は中央公民館等)へお申込みください。週1回市町村図書館等へ発送します。

## 郷土資料収集のお願い

島根に関する資料(古いものも、新しいものも)を収集・保存しています。ご寄贈、情報のご提供をお願いします。

## 利用案内

開館日時間 火曜日～金曜日 3月～10月 9時～19時  
11月～2月 9時～18時  
土曜日・日曜日・祝日 通 年 9時～17時  
休館日 毎週月曜日(祝日にあたるときは開館)・第1木曜日  
年末年始 12月28日～1月4日・特別整理休館

詳しくは開館日カレンダーをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.lib-shimane.jp>  
編集発行 島根県立図書館 〒690-0873 松江市内中原町52  
TEL 0852-22-5733 FAX 0852-22-5728

発行日 平成24年3月1日